

教科名	地理歴史	科目名	世界史B
学年	第1学年	単位数	4単位
使用教科書	山川出版社 『詳説世界史』		
副教材	第一学習社 『グローバルワイド 最新世界史図表 新版』 浜島書店 『総合マスター 世界史B』		

## 1 学習目標

世界の歴史の大きな枠組みと展開を諸資料に基づき地理的条件や日本の歴史と関連付けながら理解させ、文化の多様性・複合性と現代世界の特質を広い視野から考察させることによって、歴史的思考力を培い、国際社会に主体的に生きる日本国民としての自覚と資質を養う。

## 2 指導の重点

- ①基礎的知識や思考力を身につけさせ、2年次以降で学ぶ日本史・地理および公民科目と関連付ける。
- ②内容の取り扱いにおいて適宜項目を選択し、複数の主題を設定して追究する学習を行う。
- ③抽象的で高度な指導にならないように配慮しながら、歴史への興味関心・知的好奇心を喚起する。

## 3 学習計画

学期	単元名	学習活動（授業内容）
1学期	<ul style="list-style-type: none"> <li>・オリエントと地中海世界</li> <li>・アジア・アメリカの古代文明</li> <li>・内陸アジア世界・東アジア世界の形成</li> <li>・イスラーム世界の形成と発展</li> <li>・ヨーロッパ世界の形成と発展</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・古代オリエント、ギリシア、ローマ</li> <li>・インド、東南アジア、中国、南北アメリカ</li> <li>・遊牧民、中国、東アジア文化圏</li> <li>・イスラーム</li> <li>・西ヨーロッパ、東ヨーロッパ</li> </ul>
2学期	<ul style="list-style-type: none"> <li>・内陸アジア世界・東アジア世界の展開</li> <li>・アジア諸地域の繁栄</li> <li>・近世ヨーロッパ世界の形成</li> <li>・近世ヨーロッパ世界の展開</li> <li>・近代ヨーロッパ・アメリカ世界の成立</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・内陸アジア、東アジア、モンゴル帝国</li> <li>・中国、トルコ、イラン、ムガル帝国</li> <li>・大航海時代、ルネサンス、宗教改革</li> <li>・近世ヨーロッパ、海外進出、17-18世紀文化</li> <li>・産業革命、アメリカ独立革命、フランス革命</li> </ul>
3学期	<ul style="list-style-type: none"> <li>・欧米における近代国民国家の発展</li> <li>・アジア諸地域の動揺</li> <li>・帝国主義とアジアの民族運動</li> <li>・二つの世界大戦</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ウィーン体制、南北アメリカ、19世紀文化</li> <li>・西アジア・南アジア・東南アジア、東アジア</li> <li>・帝国主義、アジア諸国の改革と民族運動</li> <li>・第一次世界大戦、戦間期、第二次世界大戦</li> </ul>

## 4. 課題・提出物等

- |                    |                |
|--------------------|----------------|
| (1) 上記副教材「総合マスター」  | (3) 小テスト（随時）   |
| (2) 長期休業中の課題（別途指示） | (4) その他の課題（随時） |

## 5. 評価規準と評価方法

関心・意欲・態度	思考・判断・表現	資料活用の技能	知識・理解
各単元の学習内容のポイントを意識して授業中の諸活動（説明を聞く、ノートをとる、課題を考える等）に取り組んだか。	各単元の学習内容の意味と現代の自分達との関わりを自分で考え、場面に応じて適切に表現することができたか。	諸資料を収集し、有用な情報を選択して、読み取ったり図表などにまとめたりすることができたか。	基本的な事柄を地理的条件や日本の歴史と関連付けながら理解し、その知識を身につけているか。
評価は、以上の点をふまえ、「授業中の学習への取り組み」、「課題・レポートの内容や提出状況」、「小テストや定期考査」などを材料に総合的に行う。			